

進路通信 第5号 ～一人一人の進路実現のために～

沼田高校進路指導部
令和3年11月26日

☆期末試験間近、2学期も終わりに近づき、いよいよ大学入試本番が迫ってきました。3年生諸君、青春の志を達成するため、今、懸命に努力してください。ただし、焦りと諦めは禁物です。

今回は、**入試状況と併願**についてお伝えします。3年生は、出願の参考にしてください。2年生は、自分の入試の見通しを立ててください。1年生は、自分が受けることになる大学入試の概略をまず知ってください。

I 入試状況について

○入試環境の変化

・受験人口の減少:18歳人口は約2万人減(対前年指数98。18歳人口は2023年度まで減少が続く)。前年度の現役合格者数の増加により、過年度生も減少。新型コロナウイルスにより、安全志向の継続(=挑戦志向の低迷)が見られ、私大入試への影響も見られる。

○全体の志望動向

- ・語学系統、国際関係系統の志望者数が減少。医療系の志望者数が増加。情報系の人気は継続。
- ・科目の多い大学ほど志望者数が減少(3科目以下の大学は激戦となる予想)。
- ・国公立大:志望者数は前年並。入試難易度が高い大学ほど志望者数が増加。
- ・私立大:志望者数は前年比99と前年並だが、共通テスト方式で増加(前年比108)、一般選抜敬遠の傾向あり。地方部から首都圏への志望者数が減少。

○県内国公立大志望動向(第1回ベネッセ駿台共通テスト模試志望動向データより 【 】内の数字は前年比※)

※【100】は、志望数が前年と同様であることを表す。【100】を超えるものは、前年より志望数が増えている。

☆群馬大学 前期

- ・共同教育: 国語【108】、社会【104】、英語【88】、数学【75】、理科【90】、技術【58】、音楽【103】、美術【74】、家政【167】、保健体【178】、教育【94】、教育心【128】、特別支【100】
- ・情報:【102】 理工: 物質・環境類【118】、電子・機械類【105】
- ・医: 医【98】、医(地域枠)【107】、保健／看護学【119】、検査技【89】、理学療【106】、作業療【115】

☆高崎経済大学 地域政策 前期:5教科【89】、3教科【99】 後期:5教科【131】、3教科【103】

・経済 前期:【100】、中期:【97】

☆前橋工科大学 前期:建築都市環境【70】、情報・生命工【113】

☆群馬県立県民健康科学大学 前期:看護【97】、診療放射線【100】

II 併願について

○併願を「滑り止め」の手段とだけ考え、「本命一筋の自分には重要でない」と考えてはいないだろうか。それは誤りです。併願は**第1志望校合格の可能性を高める手段にもなる**からです。そのためには、まず、併願のメリットとデメリットを知ることが必要です。

メリット1:一発勝負の不安を軽減し、落ち着いて第1志望校の試験に臨める。

メリット2:試験本番に慣れることで、第1志望校の試験で実力を発揮しやすくなる。

メリット3:高いハードルの第1志望校にも臆せず挑戦できる。

デメリット1:併願校の数が増えると、試験対策も増える。

デメリット2:併願校でも落ちると凹む、受かると気が緩む。

デメリット3:受験が続くと疲労が蓄積し、次の試験に悪影響を及ぼす。

○併願のメリットを最大化し、デメリットを最小化するために、次の原則を念頭に置こう。

原則1:受験全体の軸となる第1志望校を明確にする。

原則2:校数を水増しせず、第1志望校以外で無謀な高難度受験も避ける。

原則3:受験科目・入試日程で、第1志望校の受験対策に集中できる状況を作る。

原則4:併願で手ごたえ・自信を得て、「自分は合格できる」というムードを作る。